減っている安曇野の地下水

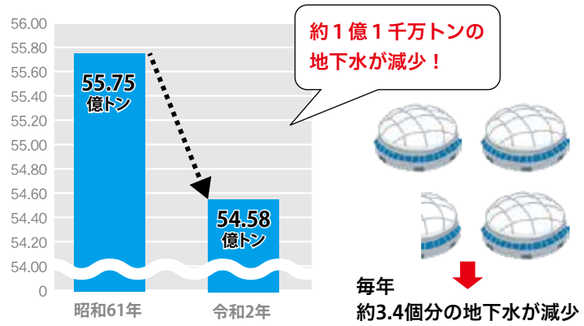
地下水保全に向けて、いま私たちにできることは――

減っている安曇野の地下水

私たちの生活に欠かせない水。安曇野は全国でも有数の湧水地として、古くから稲作・わさび栽培などの農作業や養鱒、製造業など、その豊富な水資源の恩恵を受けてきました。また、現在では市内の水道水の100％が地下水でまかなわれています。

しかし、令和2年に実施した市内の地下水一斉測水・賦存（ふぞん）量調査では、昭和61年からの34年間で約1億1千万トンの地下水が減少していることが分かりました。これは毎年約344万トンずつ減っている計算になり、その量は東京ドーム約3.4個分に相当します。また、本年3月には、わさび田湧水群憩いの広場（豊科南穂高）で、池底が現れるほど地下水位の低下が確認されました。

市の地下水賦存量の変化



池底が現れた憩いの広場

地下水量減少の主な原因

地下水量が減少している主な原因は、次の3点によるものです。

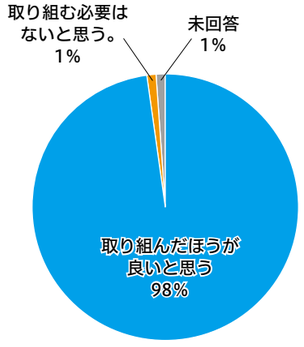
- ●田んぼの作付面積の減少、道路のコンクリート・アスファルト化により、水が地中に浸み込みにくくなっている。
- ●私たちが使う水の量が昔より増えている。
- ●降雨・降雪量が少なくなっている。

地下水保全は全員で

令和元年に行った地下水保全に関する市民アンケートでは、水道水が100％地下水であることの認知度、地下水や湧き水の量が減少傾向にあることの認知度が共に低い結果となりました。

一方、回答者のほぼ全員が地下水保全の必要性を認識しており、また、過半数以上の人が「地下水保全は市民・企業・行政の全員で取り組むべき」と答えました。

また、地下水環境や保全に向けての記述項目にも多くの意見が寄せられました。未来の子どもたちのために水資源を守らなければならないという課題に真剣に向き合っている市民が多く、地下水保全への意識の高さがうかがえます。これは、市の水資源行政を進める上で大きな助力となっています。



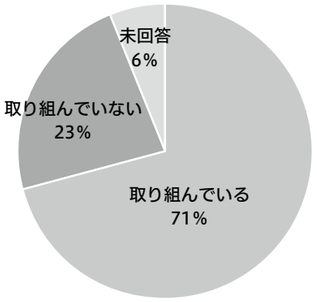
Q. 地下水保全に取り組むべき？

私たちにできることは、節水

地下水の賦存量を増やし、将来にわたって水量を安定させるためには、涵養対策とともに節水対策も重要です。前述の市民アンケートには「家庭での節水」という項目があり、7割以上の人が節水に取り組んでいると答えました。

市の水道使用量の約9割を占めているのは家庭で、お風呂の残り湯を有効活用したり、食器をまとめて洗ったりするだけでも節水効果があります。仮に市民1人当たりが1日10リットル節水すると、一般家庭用の浴槽で約4850杯分の水が節約できます。

普段無意識に使っている水は無限ではありません。私たち市民や企業、行政のそれぞれが意識して節水に取り組み、地下水を未来へ引き継いでいきましょう。



Q. 節水に取り組んでいますか？

市民の知恵袋～家庭でできる節水術～

- お風呂の残り水を**洗濯**だけではなく**風呂掃除、庭木の散水**に利用する
- 花の水やりには米の**とぎ汁**や**雨水**を貯めて（雨水貯留タンク）使う
- 食器は**汚れを拭き取って**から**まとめて**洗う　・**浴槽にためたお湯**で体や髪を洗う
- **節水器具**や**家電（食器洗浄機）**を利用する　・シャワーや蛇口を**こまめに**止める
- 歯磨きのとき**コップ**で口をすすぐ　・洗顔のときは**桶**などに**水をためて**洗う
- トイレの**流量**を調整する　・子どもに**水の大切さ**を教える

※参考：https://jp.toto.com/greenchallenge/value/setsuden/

◎市内企業の取り組み

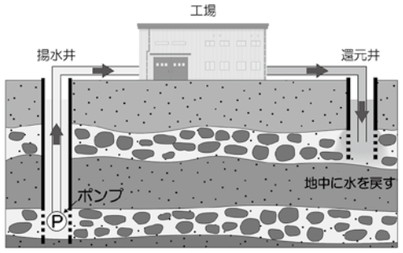
市内の工場でかち割り氷を製造しているサンリンI＆F株式会社取締役製造部長の原文彦さんに地下水保全の取り組みを聞きました。

安曇野の水で作った氷の魅力

環境省の「名水百選」に選ばれたブランド力があります。また、鉄分やカルシウムなどのミネラル成分がほとんど含まれていないため、不純物がなく透明で無味無臭、そして硬質で溶けにくい高純度の氷ができることが魅力です。

地下水保全の取り組み

私たちの会社では、市内初の還元井を設置し、製氷する過程ではね出した氷を溶かして地下に戻す工夫をしています。これにより揚水井から汲み上げた水のうち約8割の水が還元されています。還元する前には地下水汚濁とならないよう常時水質を監視し、地下水保全に最大限努めています。



還元井の仕組み

今後の取り組み

安曇野の良質な水で作った氷を全国にアピールし、安曇野ブランドの発信支援ができればと思っています。また、引き続き市と協力して地下水保全活動に取り組んでいきます。

サンリンＩ＆Ｆ株式会社

取締役 製造部長　原 文彦 さん

●会社プロフィル

本社は松本市笹賀。豊科高家の安曇野工場で「北アルプスのおいしい自然水を使った銘水氷」を製造。前身の田中製氷冷凍株式会社（明治40年創業）から、平成28年に現社名に変更。

良質な伏流水（地下水）を使った氷は、県内や関東圏の大手スーパー、飲食店に出荷し、販売されている。